

YMFG NEWS RELEASE

2020年8月3日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ
山口県立下関南総合支援学校

山口県立下関南総合支援学校へのロービジョン向け 網膜直接投影型アイウェアの贈呈およびロービジョン支援プログラムについて

山口フィナンシャルグループ(取締役会長グループCEO 吉村 猛)と山口県立下関南総合支援学校(校長 岡崎 浩一)は、下記の通り、ロービジョン向けの支援プログラムを共同で取り組むこととしましたので、お知らせします。

記

1. 実施施策

山口フィナンシャルグループは、ベンチャー企業への投資を積極的に行い、投資先のサービスを地域に提供することを通じて地域価値向上の実現を目指しています。この度は株式会社QDレーザ(代表取締役社長 菅原 充)の網膜直接投影型アイウェアを山口県立下関南総合支援学校へ贈呈し、ロービジョン¹のQOL²向上を支援します。

山口県立下関南総合支援学校は、ロービジョンに対してPC教育を強化し、職業選択の幅を広げる活動を行います。山口フィナンシャルグループは、SDGsの実現を目指し、社会進出を希望するロービジョンに雇用機会を提供することで、ロービジョンの働きがいと地域の経済成長を図ってまいります。

2. 贈呈品について

網膜直接投影型アイウェア「RETISSA Display II」 3台

製品URL：<https://www.retissa.biz/retissa-display-ii>

網膜上に映像を直接投射するため、視力やピントに依存しない≠結像機能に問題があっても、鮮明な映像を見ることが出来る製品です。これを着用してロービジョンの方のPC操作が可能となれば、職業選択の幅が広がることが期待できます。

3. ロービジョン社会復帰プロジェクトについて

(1) ロービジョン向けPC教育の実施について

2020年度から順次全面实施される新学習指導要領において、より積極的にICTを活用した学習活動が求められており、学校におけるPC環境の整備が進んでいます。本製品を活用すれば、ロービジョン向けPC教育の学習環境も改善し、ロービジョンのPCスキルの向上が見込まれ、職業選択の幅を広げることが出来ます。

(2) 山口フィナンシャルグループの障がい者雇用方針について

山口フィナンシャルグループは、従前よりロービジョンを含む障がい者の新卒・中途採用を積極的に実施しており、ケアマネージャーの配置やウィルサポートセンター³の設置等の働きやすい環境を整備してまいりました。

山口フィナンシャルグループは、今回の取組みをきっかけとして、今後より一層、PCスキルの習得などを通じて、新たな職業の選択肢を得た方を始めとする多様な人材の雇用に力を入れていきます。

< 全体イメージ >



【山口県立下関南総合支援学校概要】

学校名	山口県立下関南総合支援学校
所在地	山口県下関市幡生町1丁目1-2 2
代表者	岡崎 浩一

【株式会社QDレーザ概要】

会社名	株式会社QDレーザ
所在地	神奈川県川崎市川崎区南渡田町1-1
設立	2006年4月（富士通からのスピンオフベンチャー）
事業内容	半導体レーザおよび応用製品の企画・設計開発・製造・販売
代表者	菅原 充

なお、株式会社QDレーザは山口フィナンシャルグループの株式会社山口銀行(代表取締役 神田 一成)、株式会社もみじ銀行(代表取締役 小田 宏史)、株式会社北九州銀行(代表取締役 嘉藤 晃玉)が出資し、山口キャピタル株式会社(代表取締役 森脇 不知奈)が運営するUNICORN投資事業有限責任組合の出資先です。

以上

【本件に関するお問合せ先】

山口フィナンシャルグループ 投資共創部
担当：岩崎 TEL：083-223-3582

- ¹ ロービジョン：病気やけがなどのために十分な視力がでない、視野が狭くなるなどの状態
- ² QOL：Quality of life の略で、ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質のこと
- ³ ウィルサポートセンター：障がいを持たれた方の「意思」を尊重し、自立性・社会性を育てるサポートをしながら、未来を共に作っていくためのセンターのこと